

事業所名

児童発達支援 ウィズ・ユー三軒茶屋

支援プログラム

作成日

令和7 年

7 月

10 日

法人(事業所)理念		～子どもの「生命力」を育む～						
支援方針		1、児童が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう支援します。 2、挨拶、順番を守る、協力する、簡単なルールを守るといった基本的な社会性を身につけられるようにします。 3、地域の福祉施設、学校、行政などと積極的に連携し、利用者が地域の中で安心して生活できる環境作り、地域社会への参加を促進します。						
営業時間		9 時	0 分	18 時	0 分	送迎実施の有無	あり なし	
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・日常生活に必要なスキルを身に付けていく(手洗い、トイレ、食事、着替え等 ・遊びの途中で水分補給と身体を休める休憩タイムを行う。 ・絵カードなどを使用して、一日の流れや活動の見通しを立てられるような環境調整を行う。						
	運動・感覚	・運動機能、バランス感覚、力の強弱、さまざまな体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援 ・運動遊びを通して、体の動かし方を学び運動の楽しさを感じられると共に運動能力の向上につなげる。						
	認知・行動	・感覚を刺激しながら認知機能の発達を促す。 ・数量、色、形、大小、仲間分けなどの理解。 ・課題に向く姿勢や力を養う。						
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上、言葉の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。 ・言葉だけではなく指さしや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択、活用し、子どもに合わせた視覚的な支援を行う。 ・大人やお友達と楽しいやり取り積み重ねていく。						
	人間関係 社会性	・アタッチメント(愛着)の形成と安定、遊びを通じた社会性の発達、自己の理解と行動の調整、仲間つくりと集団。 ・環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する自己肯定感を育む。 ・模倣、ごっこ遊び、共同遊び(ルール)などを通して社会性の発達を支援する。 ・気持ちをコントロールする力を育む。(思いが通らない等で気持ちが昂った状態の時は、ペースに合わせて関わり気持ちの発散や切り替えの方法を考える。						
家族支援		・保護者の思いを尊重するとともに寄り添う上で、子どもの成長の共感・確認を行い、ご家庭や周囲の人との安定した関係を構築・継続するための支援を行います。 ・ご家族に対する支援場面を通じた学びの機会を作り、一緒に考えたり、成長を共に喜んだり悩みを相談に応じていきます。 ・ご家族に必要なレスパイトケア(休息)としての時間としての安心してお預けいただけるサードプレイスを提供します。			移行支援		通園先や就学の移行に向けた関係機関と連携を大切にしながら、お子	
地域支援・地域連携		・所属している幼稚園、保育園との連携を行い、情報共有を行う。 ・相談支援事業所との生活支援における連携。			職員の質の向上		研修(虐待防止・避難訓練・感染予防)を定期的に行っていく。 ・障害特性理解への講習参加、スタッフミーティングを定期的に開催し	
主な行事等		・季節行事(節分・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等)避難訓練、卒園前のお別れ会。						